



2027年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年8月4日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2897 URL <https://www.nissin.com/jp/company/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員・CFO (氏名) 矢野 崇

TEL 03-3205-5111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	194,665	10.0	19,709	13.5	17,961	13.4	19,347	16.5	13,275	18.3
2026年3月期第1四半期	177,031	△4.3	17,357	△25.5	15,844	△27.5	16,609	△27.5	11,219	△29.3

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2027年3月期第1四半期	46.24		45.93	
2026年3月期第1四半期	38.37		38.11	

当社は、2022年3月期より既存事業コア営業利益を開示しております。既存事業コア営業利益とは新規事業にかかる損益及び非経常損益としての「その他収支」を控除した指標であります。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		％	
2027年3月期第1四半期	992,227		568,997		526,077		53.0	
2026年3月期	981,195		559,817		517,168		52.7	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		35.00	—	35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	
通期	860,000	9.1	73,500	4.1	66,000 ～69,500	5.9 ～11.5	45,500 ～48,000	0.3 ～5.8	円 159 ～167

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2027年3月期の連結業績予想については、既存事業コア営業利益の5～10%の範囲内で積極的な新規事業投資を行っていくため、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)			
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	297,584,500 株	2026年3月期 297,584,500 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	10,465,010 株	2026年3月期 10,526,205 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	287,119,551 株	2026年3月期1Q 292,385,652 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P5.「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益では前年同期比10.0%増の1,946億65百万円となりました。利益面では、既存事業コア営業利益（注1）は前年同期比13.5%増の197億9百万円、営業利益は前年同期比13.4%増の179億61百万円、税引前四半期利益は前年同期比16.5%増の193億47百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比18.3%増の132億75百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益では前年同期比4.7%増の1,854億28百万円、既存事業コア営業利益は前年同期比8.0%増の187億41百万円となりました。（注2）

当社グループは、2030年に向けた「中長期成長戦略2030」に基づき、ビジョンの実現と持続的成長に向け、成長戦略テーマである①既存事業のキャッシュ創出力強化、②EARTH FOOD CHALLENGE 2030、③新規事業の推進に取り組んでおります。

（注1）既存事業コア営業利益とは、営業利益から新規事業にかかる損益及び非経常損益としての「その他収支」を控除したものであり、中長期成長戦略上2022年3月期以降積極的かつ継続的な先行投資を予定する新規事業にかかる損益を分離し、その成長投資の基盤となる既存事業の実質的な成長を測定することを目的に採用している指標であります。

（注2）2027年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	2026年3月期	2027年3月期	対前年同期	
	自 2025年4月1日 至 2025年6月30日	自 2026年4月1日 至 2026年6月30日	金額	%
売上収益	177,031	194,665	17,634	10.0
既存事業コア営業利益	17,357	19,709	2,351	13.5
営業利益	15,844	17,961	2,117	13.4
税引前四半期利益	16,609	19,347	2,737	16.5
親会社の所有者に帰属する四半期利益	11,219	13,275	2,056	18.3

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

①日清食品

日清食品(株)の販売状況は、価格改定の影響もあり前年同期比で増収となりました。カップめん類では、周年を迎えた「カップヌードル」、「日清のどん兵衛」、「日清焼そばU.F.O.」ブランドの主力商品が順調に推移し、2026年6月発売の「日清 北中米トリオ」など新製品が売上に大きく貢献しました。カップライス類は2026年4月発売の「日清 山盛カレーメシ」を含む「日清カレーメシ」シリーズが売上に大きく貢献し順調に推移しました。袋めん類では、2026年3月発売の新ブランド「日清辛ミョン」シリーズや、「日清のラーメン屋さん」シリーズが売上に貢献しています。利益面では、原材料価格の上昇等がありましたが、増収効果により増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比0.4%増の531億71百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比9.3%増の82億87百万円、営業利益は、前年同期比9.8%増の83億4百万円となりました。

②明星食品

明星食品(株)の販売状況は、カップめん類が売上を伸ばし前年同期比で増収となりました。カップめん類では、「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズが堅調に推移したほか、「明星 ぶぶか油そば」が伸長するなど、汁なし麺が引き続き売上をけん引しました。袋めん類では4月に新発売した「明星 一平ちゃん夜店の焼そば 袋 からしマヨ付 5食パック」が貢献しました。

利益面では、増収効果があったものの、原材料価格の上昇等により前年同期比で減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比6.2%増の123億55百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比5.7%減の12億21百万円、営業利益は、前年同期比5.6%減の12億43百万円となりました。

③低温・飲料事業

チルド事業は、商品ラインナップを拡充した「麺の達人」「スープの達人」が好調に推移したほか、今年発売30周年を迎える「行列のできる店のラーメン」に加え、「つけ麺の達人」「まぜ麺の達人」といった高付加価値商品も貢献し、前年同期比で増収となりました。利益面では、増収効果により前年同期比で増益となりました。

冷凍事業は、「冷凍 日清中華」「冷凍 日清まぜ麺亭」「冷凍 日清スパ王喫茶店」シリーズが堅調に推移したことから、売上収益は前年同期並みとなりました。利益面では、原材料価格や物流費の上昇等により、前年同期比で減益となりました。

飲料事業は、睡眠ブームのダウントレンドによる「ビルクルミラクルケア」シリーズの販売減に加え、CVS(コンビニエンスストア)向け売上が低調に推移しました。また、昨年の新製品「ビルクル免疫スタイル」「ビルクルエイジングライフ」やリニューアルを実施した「十勝のむヨーグルト」の貢献も限定的にとどまり、前年同期比で減収となりました。利益面では、減収の影響に加え、関西工場増築に伴う減価償却費の増加や、原材料費・物流費の上昇によるコストアップの影響もあり、前年同期比で減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比0.8%減の259億33百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比9.2%減の24億73百万円、営業利益は、前年同期比8.9%減の24億86百万円となりました。

④菓子事業

粥湖池屋は、コーン系ブランドの好調に加え、馬鈴薯歩留まりが改善したことによる生産効率向上や中部工場の稼働に伴う物流費の抑制等により、前年同期比で増収増益となりました。日清シスコ(株)は、「ごろグラ」シリーズ等のシリアル及び「ココナッツサブレ」シリーズが堅調に推移したものの、原材料費の高騰や販売促進費の積極的な投入等により、前年同期比で増収減益となりました。ぼんち(株)は、昨年実施した価格改定の影響による販売数量の減少が続いたものの、コメ価格や物流費率の低下等によるコスト改善により、前年同期比で減収増益となりました。また、(株)セリア・ロイルは、「ブラックサンダーアイス」及び「ひとくちアイス」シリーズの販売が好調に推移しました。2026年2月27日付で連結子会社化したことにより、当第1四半期連結累計期間においては3か月分の業績が寄与しました。以上の結果、菓子事業全体では増収増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比10.2%増の261億54百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比30.7%増の21億7百万円、営業利益は、前年同期比49.5%増の21億14百万円となりました。

⑤米州地域

米州地域全体では、引き続き新たな需要創造に向けた高付加価値商品の提案強化や導入推進に取り組んでいます。

売上については、米国では前会計年度に実施した価格改定の浸透に加え、「CUP NOODLES」など普及価格帯商品の販売が堅調に推移し、数量が増加しました。ブラジルにおいても価格改定の効果や「Nissin Lamén」等の主力製品を中心に販売が増加したことで増収となりました。

利益については、増収効果や為替影響等によりコスト上昇を吸収し、セグメント全体で増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比27.4%増の425億27百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比23.2%増の27億45百万円、営業利益は、前年同期比23.4%増の27億87百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比8.7%増の363億円となり、コア営業利益は、前年同期比4.1%増の23億19百万円となりました。(注4)

⑥中国地域

中国地域においては、販売エリアの拡大、中国版カップヌードル「合味道」ブランド及び高価格帯袋めんの販売強化に取り組むとともに、冷凍食品や菓子などのマルチカテゴリー化、卸売ビジネスの拡大を進めています。中国大陸では、既存販売網の活性化に加え、内陸部への販路拡大が進んだことにより、主力のカップヌードル「合味道」や「合味道BIG」など、高価格帯カップめんを中心に販売が伸長しました。香港では、大湾区における「北上消費」が進む中、カップヌードル「合味道」や「北海道一丁」などの高価格帯即席めんの販売が堅調に推移した一方、一部の冷凍食品や飲料等の販売が伸び悩みました。また、ベトナム、豪州においても、販路拡大を背景に即席めんの販売が伸長しました。

こうした状況の下、売上収益は、中国大陸を中心に即席めんの販売が伸長し、前年同期比で増収となりました。利益については、増収効果に加え、高価格帯商品の販売伸長、原材料価格の低下等により、前年同期比で増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比13.8%増の189億94百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比28.3%増の16億31百万円、営業利益は、前年同期比28.1%増の16億79百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比3.5%増の172億77百万円となり、コア営業利益は、前年同期比16.7%増の14億83百万円となりました。（注4）

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである欧州地域、アジア地域、新規事業並びにその他の事業を含んだ「その他」の売上収益は、前年同期比24.4%増の155億28百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比3.0%減の25億55百万円、営業利益は、前年同期比2.9%減の25億19百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比14.0%増の142億34百万円となり、コア営業利益は、前年同期比15.9%減の22億14百万円となりました。（注4）

（注3）コア営業利益とは、営業利益から非経常損益としての「その他収支」を控除したものであります。

（注4）2027年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

（2）当四半期の財政状態の概況

①資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの資産合計は、前連結会計年度末に比べ110億31百万円増加し、9,922億27百万円となりました。当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

資産の増加につきましては、主に棚卸資産が88億23百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ18億51百万円増加し、4,232億29百万円となりました。これは主にコマーシャル・ペーパーが160億円、営業債務及びその他の債務が132億79百万円減少したのに対し、社債及び借入金が383億73百万円増加したことによるものであります。

資本につきましては、前連結会計年度末に比べ91億80百万円増加し、5,689億97百万円となりました。これは主にその他の資本の構成要素が52億5百万円、利益剰余金が31億70百万円増加したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の52.7%から53.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という。）は、997億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億80百万円の増加となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は37億55百万円（前年同期比94億89百万円の資金の減少）となりました。これは主に運転資金等の増加が100億92百万円となった一方、税引前四半期利益が193億47百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は146億15百万円（前年同期比38億99百万円の資金の増加）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が148億82百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は98億15百万円（前年同期比37億34百万円の資金の減少）となりました。これは主にコマーシャル・ペーパーの純増減額が160億円の減少、配当金の支払額が100億47百万円となった一方、社債の発行による収入が388億51百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	98,334	99,715
営業債権及びその他の債権	114,338	107,262
棚卸資産	76,018	84,841
未収法人所得税	37	318
その他の金融資産	14,612	13,854
その他の流動資産	21,063	21,588
流動資産合計	324,405	327,579
非流動資産		
有形固定資産	426,500	433,532
のれん及び無形資産	21,549	21,677
投資不動産	8,029	8,015
持分法で会計処理されている投資	121,988	125,520
その他の金融資産	64,098	60,817
繰延税金資産	13,836	14,191
その他の非流動資産	786	891
非流動資産合計	656,790	664,647
資産合計	981,195	992,227

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	149,668	136,389
借入金	50,782	51,304
コマーシャル・ペーパー	22,000	6,000
未払法人所得税	9,330	6,248
その他の金融負債	4,536	4,678
その他の流動負債	27,375	24,885
流動負債合計	263,693	229,506
非流動負債		
社債及び借入金	102,752	141,126
その他の金融負債	24,242	23,598
退職給付に係る負債	5,337	5,277
引当金	225	221
繰延税金負債	20,945	19,342
その他の非流動負債	4,179	4,155
非流動負債合計	157,683	193,723
負債合計	421,377	423,229
資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	39,812	40,148
自己株式	△33,655	△33,459
その他の資本の構成要素	100,313	105,519
利益剰余金	385,575	388,745
親会社の所有者に帰属する持分合計	517,168	526,077
非支配持分	42,649	42,920
資本合計	559,817	568,997
負債及び資本合計	981,195	992,227

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上収益	177,031	194,665
売上原価	116,570	128,048
売上総利益	60,461	66,616
販売費及び一般管理費	47,460	52,516
持分法による投資利益	3,017	3,781
その他の収益	254	213
その他の費用	427	133
営業利益	15,844	17,961
金融収益	1,512	2,580
金融費用	747	1,195
税引前四半期利益	16,609	19,347
法人所得税費用	4,792	5,242
四半期利益	11,817	14,104
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	11,219	13,275
非支配持分	598	828
四半期利益	11,817	14,104
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	38.37	46.24
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	38.11	45.93

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期利益	11,817	14,104
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する資本性金融資産	2,192	△2,270
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	41	472
純損益に振り替えられることのない項目合計	2,233	△1,798
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△8	39
在外営業活動体の換算差額	△473	7,621
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△2,044	51
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	△2,526	7,712
税引後その他の包括利益	△292	5,913
四半期包括利益	11,524	20,017
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	11,386	18,528
非支配持分	137	1,489
四半期包括利益	11,524	20,017

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2025年4月1日 残高	25,122	39,662	△31,049	2,841	12,535	11	25,727
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△10	△8	2,189
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△10	△8	2,189
自己株式の取得	—	△11	△8,985	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	59	△40	—	—	—
自己株式の消却	—	—	17,493	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	116	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	104	8,567	△40	—	—	—
2025年6月30日 残高	25,122	39,767	△22,481	2,801	12,524	2	27,917

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			非支配持分	合計	
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金			
2025年4月1日 残高	18,784	59,899	381,893	475,528	36,372	511,901
四半期利益	—	—	11,219	11,219	598	11,817
その他の包括利益	△2,003	167	—	167	△460	△292
四半期包括利益合計	△2,003	167	11,219	11,386	137	11,524
自己株式の取得	—	—	—	△8,997	—	△8,997
自己株式の処分	—	△40	△19	0	—	0
自己株式の消却	—	—	△17,493	—	—	—
配当金	—	—	△10,284	△10,284	△1,330	△11,614
株式に基づく報酬取引	—	—	—	116	—	116
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△174	△174	174	—	—	—
その他の増減	—	—	13	13	39	53
所有者との取引額合計	△174	△214	△27,609	△19,151	△1,290	△20,442
2025年6月30日 残高	16,606	59,852	365,503	467,764	35,220	502,984

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2026年4月1日 残高	25,122	39,812	△33,655	2,679	35,857	78	34,812
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	6,960	39	△2,270
四半期包括利益合計	—	—	—	—	6,960	39	△2,270
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	196	△108	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	18	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	317	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	472
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	336	195	△108	—	—	472
2026年6月30日 残高	25,122	40,148	△33,459	2,570	42,817	117	33,014

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			非支配持分	合計	
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金			
2026年4月1日 残高	26,885	100,313	385,575	517,168	42,649	559,817
四半期利益	—	—	13,275	13,275	828	14,104
その他の包括利益	523	5,252	—	5,252	661	5,913
四半期包括利益合計	523	5,252	13,275	18,528	1,489	20,017
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	△108	—	87	—	87
配当金	—	—	△10,047	△10,047	△1,504	△11,551
株式に基づく報酬取引	—	—	—	18	—	18
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	317	178	496
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△410	61	△61	—	—	—
その他の増減	—	—	3	3	108	111
所有者との取引額合計	△410	△46	△10,105	△9,619	△1,217	△10,837
2026年6月30日 残高	26,998	105,519	388,745	526,077	42,920	568,997

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	16,609	19,347
減価償却費及び償却費	8,220	9,771
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△111	△174
金融収益及び金融費用	△1,164	△1,717
持分法による投資損益 (△は益)	△3,017	△3,781
固定資産除売却損益 (△は益)	27	△12
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,646	△7,864
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	10,165	8,064
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△7,294	△10,292
その他	△3,507	△1,977
小計	16,282	11,362
利息及び配当金の受取額	2,840	2,559
利息の支払額	△592	△1,008
法人所得税の支払額	△5,285	△9,157
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,244	3,755
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,805	△4,061
定期預金の払戻による収入	4,064	4,256
有形固定資産の取得による支出	△20,734	△14,882
有形固定資産の売却による収入	12	32
無形資産の取得による支出	△60	△112
投資の取得による支出	△2	△133
投資の売却、償還による収入	12	286
その他	—	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,514	△14,615
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△5,930	1,761
コマーシャル・ペーパーの純増減額	40,000	△16,000
長期借入れによる収入	1,600	26
長期借入金の返済による支出	△460	△2,153
社債の発行による収入	—	38,851
自己株式の取得による支出	△9,045	△0
配当金の支払額	△10,284	△10,047
非支配株主への配当金の支払額	△1,330	△1,504
非支配株主からの払込による収入	—	317
その他	△999	△1,436
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,550	9,815
現金及び現金同等物に係る換算差額	921	2,424
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,201	1,380
現金及び現金同等物の期首残高	73,036	98,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	82,237	99,715

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社制を採り、国内9事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業、低温・飲料事業、菓子事業を展開し、「日清食品」、「明星食品」、「低温・飲料事業」、「菓子事業」、「米州地域」、「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」、「明星食品」、「米州地域」、「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温・飲料事業」はチルド製品、冷凍製品及び飲料製品を製造販売し、「菓子事業」は菓子製品を製造販売しております。

(2) セグメント収益及び業績

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度において適用した会計方針と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	52,940	11,635	26,154	23,743	33,380	16,689	164,544	12,487	177,031	—	177,031
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	293	1,476	212	31	12	761	2,788	11,679	14,468	△14,468	—
計	53,234	13,112	26,366	23,774	33,393	17,450	167,332	24,167	191,499	△14,468	177,031
セグメント利益 (営業利益)	7,566	1,316	2,728	1,414	2,259	1,311	16,597	2,594	19,191	△3,346	15,844
金融収益											1,512
金融費用											747
税引前四半期利益											16,609
その他の項目											
減価償却費及び償却費	3,724	468	694	753	824	735	7,201	1,013	8,214	6	8,220
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	3,017	3,017	—	3,017
資本的支出	5,215	501	789	2,235	6,514	1,393	16,650	1,564	18,215	△0	18,215

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州地域、アジア地域、新規事業並びにその他の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,346百万円には、セグメント間取引消去等△987百万円、グループ関連費用△2,359百万円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	53,171	12,355	25,933	26,154	42,527	18,994	179,137	15,528	194,665	—	194,665
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	324	1,053	207	22	21	458	2,088	22,031	24,119	△24,119	—
計	53,496	13,408	26,140	26,177	42,549	19,452	181,225	37,559	218,784	△24,119	194,665
セグメント利益 (営業利益)	8,304	1,243	2,486	2,114	2,787	1,679	18,616	2,519	21,135	△3,173	17,961
金融収益											2,580
金融費用											1,195
税引前四半期利益											19,347
その他の項目											
減価償却費及び償却費	4,082	526	821	990	1,274	656	8,352	1,410	9,763	8	9,771
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	3,781	3,781	—	3,781
資本的支出	2,146	486	580	1,109	5,991	606	10,920	905	11,825	△0	11,825

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州地域、アジア地域、新規事業並びにその他の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,173百万円には、セグメント間取引消去等△569百万円、グループ関連費用△2,604百万円が含まれております。